

渦巻く切実な声・こえ・声

▶ 6~9月に実施した「市民アンケート」より

「収入が少ないのに消費税を上げられたら生活できない。出産も控えているからお金もすごくかかるのに…」(旧七尾市 30代女性)

「七尾市は10キロから30キロ圏内です。福島のような事故が起これば、七尾市は廃墟と化します」(旧田鶴浜 60代女性)

「若者がリストラにあって困っています。先が見えず苦しんでいます」(匿名)

みなさんの願いに込めているのはどの党、どの議員でしょうか



日本共産党議員以外は「オール与党」

日本共産党議員は、毎議会討論に立っています。値上げや負担増の予算案には、反対理由を述べるとともに、住民の暮らし・福祉を守るという、市の本来の役割の発揮を求め続けています。

くらしに直結する議案への態度を見てください！

- 子どもの医療費の窓口負担ゼロを求める請願 (2011年9月議会)
日本共産党議員だけ賛成 (県議会では可決しているのに…)
- 消費税増税中止求める請願 (2013年6月議会)
日本共産党議員と他1名が賛成
- 介護保険料引き上げの条例 (2012年3月議会)
反対したのは日本共産党議員と他1名

議員をえらぶモノサシは

市民の願い実現に
真剣にがんばる議員か
どうかです



日本共産党議員がいてこそ市政が動きます

「海拔表示板」の設置を提案し実現

今年6月議会での日本共産党議員の質問に、市は、「史跡公園」などとしての整備をすすめる考えだと答えました。

「万行遺跡」は「史跡公園」として整備

今年6月議会での日本共産党議員の質問に、市は、「史跡公園」などとしての整備をすすめる考えだと答えました。

国保税が高すぎることを市長も認める

日本共産党市議は毎議会、国保税が高すぎる問題を指摘しつづけ、ついに、武元市長(当時)も、「高すぎる」ことを認め、国保会計の「基金」を使って「2年間限定」で、毎年15700円(平均)の引き下げを実施しました(平成21・22年度)。

子どもの医療費無料―中学校卒業まで拡大

平成13年度に古川孝作日本共産党市議(当時)の奮闘で「小学校入学前まで無料にし、今年4月からは、現日本共産党市議の奮闘で中学校卒業まで拡大されました。

日本共産党の立党の精神は、「国民の苦難解決」---その立場で、くらし・社会保障を重視します

日本共産党の活動の原点は「国民こそ主人公」「国民の苦難解決」です。この立場で安心して暮らしていけるように、福祉の対策を提案しています。

ですから、福祉の財源も低所得者に負担の重い消費税にたよらず、大企業や大資産家などに応分の負担をしてもらうことを提案しています。

願い実現の
たしかな
力です

